

第 15 回近畿輸血検査研修会 プログラム

★ 平成 22 年 9 月 4 日（土）★

14 : 00～14 : 30 受付

14 : 30～14 : 40 開講式（挨拶）

14 : 40～15 : 40 講演 1 『 直接抗グロブリン試験陽性時の輸血対応 』

古杉 光明 先生（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社）

※ 日々多くの相談に対応されている古杉先生には、基本的な原理だけに止まらず、EBM も踏まえた内容で、認定技師の方にもこの機会を聞き逃さないご講演をして頂ける予定。

15 : 50～16 : 50 講演 2 『 臨床的意義のある抗体と適合血の選択 』

押田 真知子 先生（大阪大学医学部附属病院 輸血部）

※ 日本輸血・細胞治療学会でも多くの役割をこなされている押田先生には、赤血球抗体の臨床的意義のガイドラインおよびこれまでのご経験を元にポイントをまとめてご講演をして頂ける予定。

17 : 00～18 : 00 講演 3 『 多様化する造血幹細胞移植について 』

＝ 末梢血・骨髄・臍帯血の採取から移植における管理と成績 ＝

甲斐 俊朗 先生（兵庫医科大学病院 輸血部）

※ 骨髄や臍帯血バンクの委員としても尽力されている甲斐先生には、最新の臨床成績、日本や海外の方向性および普段見る機会のない臍帯血管理の実際等についてご講演をして頂ける予定。

18 : 20～ 神戸ハーバーランドへ移動（専用バスにて移動、ポートピアホテル経由）

19 : 20～21 : 05 懇親会（クルージング）

21 : 20～ ポートピアホテルへ移動（専用バスにて移動）

22 : 20～ ナイトセミナー（自由参加）テーマ： ①輸血管理料取得への取り組み

②緊急時輸血の対応

③不規則抗体検査の問題解決 を予定

★ 平成 22 年 9 月 5 日（日）★

8 : 10～8 : 30 受付

8 : 30～8 : 35 挨拶

8 : 35～9 : 35 講演 4 『 副作用・感染症報告の現状と安全管理情報 』

百瀬 俊也 先生（日本赤十字社 血液事業本部 安全管理課）

※ 日本赤十字社の安全管理責任者として、ヘモビジランスの構築に取り組まれている百瀬先生には、全国の医療機関からの副作用・感染症報告や遡及調査情報などの安全管理情報の解析や評価結果についてご講演をして頂ける予定。

9 : 45～10 : 45 講演 5 『 アメリカの病院における輸血検査業務 』

坂本 美佐 先生（元マサチューセッツ総合病院輸血部）

※ 愛知県の病院、血液センター、アメリカの病院勤務という経歴を持たれる坂本先生には、アメリカの病院における各個人の役割やしっかりマニュアル化された体制についてご講演をして頂ける予定。

10 : 55～11 : 55 講演 6 『 ケーススタディーを使った輸血医学教育の実際 』

高田 昇 先生（広島文化学園大学 看護学部、前広島大学病院 輸血部）

※ K-Tran や B-Tran（輸血関係者のメーリングリスト）でもご活躍されている高田先生には、輸血の判断及び輸血効果、副作用の対応について実際の教育現場を題材に実演を交えたご講演をして頂ける予定。

11 : 55～12 : 00 閉講式（挨拶）